



**The lead isotopic method for provenancing and  
the interpretation of data**

**齋藤 努**

---

**①はじめに**

**②方法そのものについての意見**

**③データの解釈についての意見**

**④おわりに**



近年、鉛同位体比法に対して問題点があるのではないかという意見が聞かれる。しかし、の中にはすでに決着をみている議論の蒸し返しや、これまでの研究の成果を十分に理解せずに意見を提示している場合もしばしばみられる。本論文では、そうした意見の代表的なものを示し、それらに対するこれまでの議論の経過や著者の検討結果を述べた。また、データの解釈が、必ずしも適切とは言えない議論の結果として提示されている論文もみられる。それらに対する検討結果も示した。本論文の結論は下記の通りである。

- 1) 現在のところ、鉛同位体比法そのものの有効性について、特に問題となる点はない。
- 2) 鉛同位体比測定結果の解釈は、歴史学的・考古学的な研究の成果と整合がとれるような形で行われるべきであり、数値のみに基づく議論は危険である。